

## 別紙2

### 会場設計上の懸案事項等

#### 1 経費削減への取組み

国スポ本大会及びリハーサル大会の開催準備において、重要な課題である開催経費について徹底した削減を図ること。従来の設置方法など過去の慣例を踏襲することなく、既存備品の転用、安価な代替品への切り替え等を多角的に精査し、経費支出を最小限に抑制した計画を作成すること。

#### 2 競技会場配置計画及び会場転換等について

競技会場の課題や特性を調査等から把握し、特性を生かした計画や対策案を講じ、安全で無駄のない設置計画を検討すること。また、一つの競技会場で複数競技を行う場合には、早急な会場転換を想定した設置や仮設物等の共有により、効率的な設置計画とすること。

#### 3 隣接施設の有効な活用

会場設置において、従来の仮設物の設置方法に捉われず、利用可能な周辺施設を調査・把握し、最大限有効活用する方法を精査し、効果的な計画を検討すること。

#### 4 ユニバーサルデザインの取組み

ユニバーサルデザインを基本とし、年齢や障がいの有無に関わらず誰もが利用しやすい環境を整えること。競技会の円滑な運営と、一般観覧者が安全かつ快適に観戦できる配置計画を、必要最低限の設備により合理的かつ効率的に実施すること。

#### 5 競技個別の事項について

##### (1) 信州松本平広域公園内開催競技について

陸上競技（全種別）、サッカー（少年男子）、テニス（成年男子・女子）の3競技が開催され、会期が重なる競技及び早急な会場転換の必要性があることから、仮設物等の共有や選手・一般観覧者の動線の整理など、安全で効率的かつ無駄のない大会運営に考慮した「会場配置図」、「動線・ゾーニング計画」について総合的に示すこと。

##### ア 国スポ・全障スポ総合開閉会式開催における会場配置の調整

信州松本平広域公園陸上競技場において長野県が運営する総合開閉会式が開催されることから、長野県が設置する仮設物を想定した、流用などの効率的かつ無駄のない大会運営に考慮した設計とすること。

##### イ サッカー（少年男子）について

サッカーは信州松本平広域公園内で4会場が点在しており、テニスとは2日間の同時開催がされ、さらに信州松本平広域公園球技場については、中2日間で陸上競技への会場転換が必要であるため、仮設物の共有など、効率的な会場設営を考慮した設計とすること。

##### ウ 隣接活用可能施設

松本平広域公園体育館

##### (2) テニス（成年・少年）における会場設計について

ア オムニコート浅間温泉テニスパークでテニス競技（成年・少年）が会期前半に開催されるが、選手 監督、競技役員等の控室が不足している。そのため、軟式野球競技（成年男子）開催会場であるセキスイハイム松本スタジアムの諸室やグラウンド内を利用し、効率的な会場転換、経費負担の抑制について考慮すること。

イ 隣接活用可能施設

(ア) セキスイハイム松本スタジアム

(イ) 本郷体育館

(ウ) 松本市浅間温泉文化センター

(3) エア・ウォーターアリーナ松本について

ア 会期前半になぎなた（成年・少年女子）、会期後半にバレーボール（少年男子・女子の2競技が開催され、会期最終日には国スポ総合閉会式（隣接のキッセイ文化ホール）の関係者控所としての使用が想定される。なぎなた・バレーボールの効率的な会場転換及び長野県が運営する総合閉会式への転換を考慮した設計とすること。

イ エア・ウォーターアリーナ内にあるトレーニング室は定期券を使った利用があるため、運営しながら利用できる方法についても検討すること。

ウ 隣接活用可能施設

キッセイ文化ホール